

実質化された人・農地プラン

注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
小鹿野町	下小鹿野地区(信濃石・泉田・奈倉)	令和4年3月31日	令和4年3月31日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	51.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者の農地面積の合計	42.3ha
③アンケート調査等に回答した地区内における60才以上の農地所有者の農地面積の合計	40.4ha
i うち後継者未定の農地所有者の農地面積の合計	20.8ha
ii うち後継者について不明の農地所有者の農地面積の合計	2.5ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.28ha
(備考)	

- 注1:③の「60才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。
 注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。
 注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。
 注4:プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

高齢化による耕作放棄地の増加や後継者不足が一番の問題となる。
 現在、耕作をしている土地への影響として、耕作放棄地があることで害虫の被害や景観を損なうことがある。
 新規の就農希望者や拡大意向のある人がいたとしても、円滑に農地を取得することが出来ない。
 作物の安定した販路が確立されていない。また、特色のある作物がないため、競争力が低い。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

就農希望者に円滑かつ迅速に農地を提供出来る体制を整える(中間管理事業の利用)。
 農地利用は、中心経営体の農業者が担うほか、入作を希望する農業者の支援を促進していく。
 担い手育成の制度を活用し、新規就農する者に農地を斡旋していく(中間管理事業に斡旋)。

- 注1:中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。
 注2:「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
集		施設園芸	0.37 ha		0.67 ha	泉田
認農		野菜	1.93 ha		1.93 ha	奈倉
認就		施設園芸	0.17 ha		0.17 ha	奈倉
認就		施設園芸	0.17 ha		0.27 ha	泉田
認就		施設園芸	0.19 ha		0.29 ha	泉田
認就		施設園芸	0.11 ha		0.11 ha	信濃石
認就		施設園芸	0.25 ha		0.28 ha	泉田
認就		野菜	0.35 ha		1.1 ha	奈倉
集		そば	1.48 ha		1.48 ha	奈倉
計	9人		5.02 ha		6.3 ha	

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

- ・農地利用は、中心経営体の農業者が担うほか、入作を希望する農業者の支援を促進していく。
- ・埼玉県、農地中間管理機構(埼玉県農林公社)と協力し、農地中間事業の制度を広めていき農地の集積・集約化を目指していく。
- ・農業委員・農地利用最適化推進委員と連携し農地の利用調整を図る。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(m ²)		
		貸付け	作業委託	売渡
1				
2				
3				
4				
5				
6				
	計			

注:農業委員・農地利用最適化推進委員が農地の貸付け等の意向を確認した面積を農地利用最適化交付金の成果実績払いの対象とする場合には、人・農地プランにおいて地番、面積を記載することが必要です。

(留意事項)

本様式をそのまま公表様式として活用する場合には、中心経営体の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、本人の同意を得る等個人情報保護条例等に抵触しないよう留意してください。

なお、本人の同意が得られない場合には、その方の氏名を伏せるなど、個人が識別されないよう留意してください。